

(4) 発育状態の世代間比較 (表5、図7、図8)

① 身長

子世代（令和4年度の調査結果）と親世代（30年前の調査結果）の身長を比較してみると、男子は15歳および16歳を除く各年齢で親世代を上回るか同等の数値となっています。女子は、6歳および17歳を除く各年齢で親世代を上回るか同等の数値となっています。

また、親世代との差を年齢別にみると、男子は11歳で2.4cm、女子は10歳で2.3cmが最も大きくなっています。

② 体重

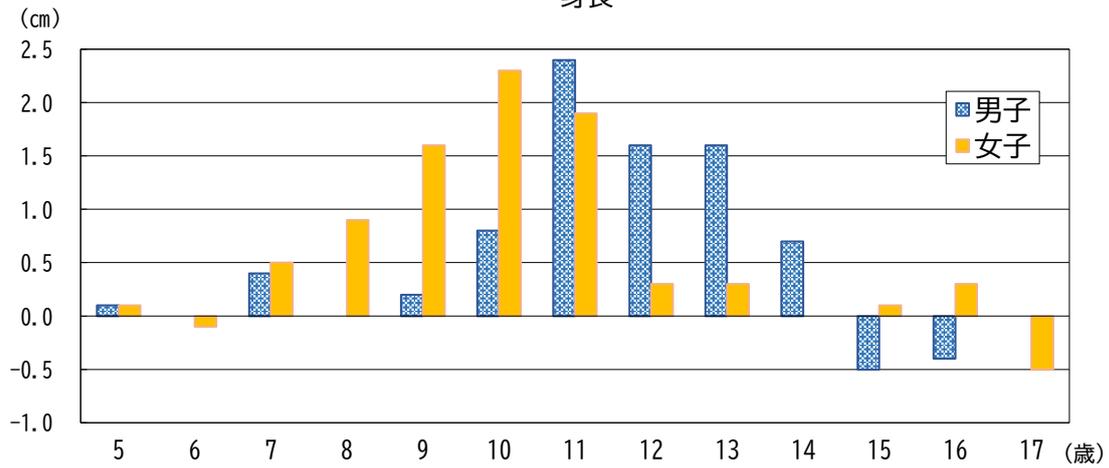
子世代と親世代の体重を比較してみると、男子は7歳～14歳で、女子は5歳および7～11歳で親世代を上回っています。また、親世代との差を年齢別にみると、男子は11歳で2.9kg、女子は17歳で2.1kgが最も大きくなっています。

表5 子世代と親世代の年齢別体格の比較

区分	学校種別	学年	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)		
				令和4年度	平成4年度	差(R4-H4)	令和4年度	平成4年度	差(R4-H4)
男子	幼稚園		5歳	111.0	110.9	0.1	19.1	19.1	0.0
	小学校	1年生	6歳	116.8	116.8	0.0	21.5	21.5	0.0
		2年生	7歳	123.0	122.6	0.4	24.4	24.0	0.4
		3年生	8歳	128.5	128.5	0.0	27.8	27.2	0.6
		4年生	9歳	133.8	133.6	0.2	31.1	30.2	0.9
		5年生	10歳	139.5	138.7	0.8	34.8	33.5	1.3
		6年生	11歳	146.3	143.9	※2.4	39.9	37.0	※2.9
	中学校	1年生	12歳	153.6	152.0	1.6	44.5	43.0	1.5
		2年生	13歳	160.8	159.2	1.6	49.4	48.3	1.1
		3年生	14歳	166.1	165.4	0.7	54.6	54.5	0.1
	高等学校	1年生	15歳	168.4	168.9	△ 0.5	58.4	59.6	△ 1.2
		2年生	16歳	170.0	170.4	△ 0.4	59.6	61.1	△ 1.5
		3年生	17歳	171.6	171.6	0.0	61.7	62.5	△ 0.8
女子	幼稚園		5歳	110.1	110.0	0.1	18.8	18.7	0.1
	小学校	1年生	6歳	115.8	115.9	△ 0.1	21.0	21.0	0.0
		2年生	7歳	122.4	121.9	0.5	24.1	23.5	0.6
		3年生	8歳	128.0	127.1	0.9	26.9	26.2	0.7
		4年生	9歳	134.6	133.0	1.6	30.9	29.5	1.4
		5年生	10歳	141.8	139.5	※2.3	35.3	33.8	1.5
		6年生	11歳	148.2	146.3	1.9	40.4	38.6	1.8
	中学校	1年生	12歳	152.2	151.9	0.3	43.7	43.7	0.0
		2年生	13歳	155.3	155.0	0.3	47.1	47.3	△ 0.2
		3年生	14歳	157.0	157.0	0.0	49.5	50.0	△ 0.5
	高等学校	1年生	15歳	158.0	157.9	0.1	50.9	52.8	△ 1.9
		2年生	16歳	158.4	158.1	0.3	52.2	53.5	△ 1.3
		3年生	17歳	158.4	158.9	△ 0.5	52.1	54.2	※△ 2.1

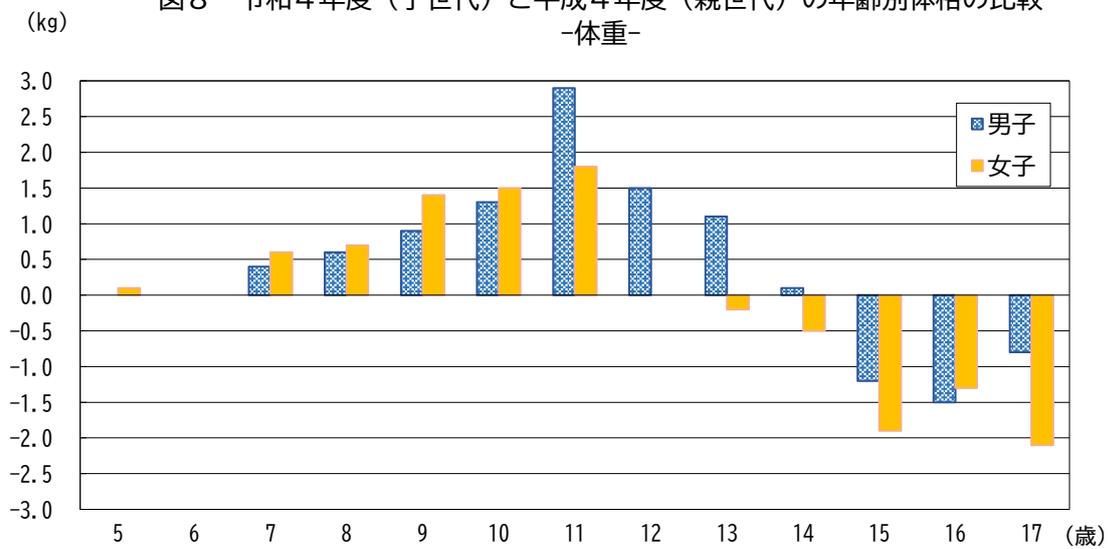
(注) 「※」印は、体格差の最大値を示します。

図7 令和4年度（子世代）と平成4年度（親世代）の年齢別体格の比較
-身長-



(注) 男子の6歳、8歳および17歳、女子の14歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

図8 令和4年度（子世代）と平成4年度（親世代）の年齢別体格の比較
-体重-



(注) 男子の5歳および6歳、女子の6歳および12歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

③ 11年間（小1～高3）の総発育量の比較（表6、図9、図10）

身長は6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代（令和4年度の調査結果）が親世代（30年前の調査結果）よりも男子は0.9cm、女子は1.4cm少なくなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子は1.4kg、女子は2.7kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、小学校の時期は、男子は身長および体重で子世代の方が親世代よりも多くなっています。女子は身長および体重で親世代よりも少なくなっています。中学校・高等学校の時期は、男女の身長、体重ともに子世代が親世代よりも少なくなっています。

表6 子世代と親世代の年間発育量

区分	歳時	身長 (cm)				体重 (kg)			
		子世代		親世代		子世代		親世代	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.9		5.7		2.3		2.5	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.5		6.1		2.9		3.0	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.3	35.8	4.8	34.8	3.1	21.5	2.9	21.1
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.2		5.9		3.3		3.9	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.2		5.0		4.2		3.4	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.7		7.3		5.7		5.4	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.1		7.8		5.3		5.9	
	13歳(中2)～14歳(中3)	6.1		6.1		5.8		5.7	
	14歳(中3)～15歳(高1)	2.9	19.1	4.0	21.0	3.3	18.9	5.3	20.7
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.8		2.3		3.1		2.5	
	16歳(高2)～17歳(高3)	1.2		0.8		1.4		1.3	
11年間の総発育量	54.9		55.8		40.4		41.8		
年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳		12歳～13歳		13歳～14歳		12歳～13歳		
女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.5		6.1		2.3		2.5	
	7歳(小2)～8歳(小3)	6.1		5.8		2.8		3.0	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.6	35.7	5.1	36.5	3.1	21.6	2.9	22.9
	9歳(小4)～10歳(小5)	6.8		6.7		4.1		3.9	
	10歳(小5)～11歳(小6)	7.0		6.2		5.3		4.5	
	11歳(小6)～12歳(中1)	4.7		6.6		4.0		6.1	
	12歳(中1)～13歳(中2)	3.5		3.2		3.9		3.9	
	13歳(中2)～14歳(中3)	1.5		2.4		2.8		2.8	
	14歳(中3)～15歳(高1)	0.7	6.8	0.7	7.4	1.4	9.6	2.1	11.0
	15歳(高1)～16歳(高2)	0.6		0.2		1.3		0.9	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.5		0.9		0.2		1.3	
11年間の総発育量	42.5		43.9		31.2		33.9		
年間発育量の最も大きい年齢	10歳～11歳		11歳～12歳		10歳～11歳		11歳～12歳		

- (注) ・ 年間発育量とは、身長、体重について1年間に増加した量を言います。例えば、平成16年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成24年度調査の7歳の体格から平成23年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・ 11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・ 子世代とは、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者で、平成23年度調査の6歳、令和4年度調査の17歳です。
 - ・ 親世代とは、昭和49年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた者で、昭和56年度調査の6歳、平成4年度調査の17歳です。

図9 令和4年度（子世代）と平成4年度（親世代）の年間発育量の比較
（男子）

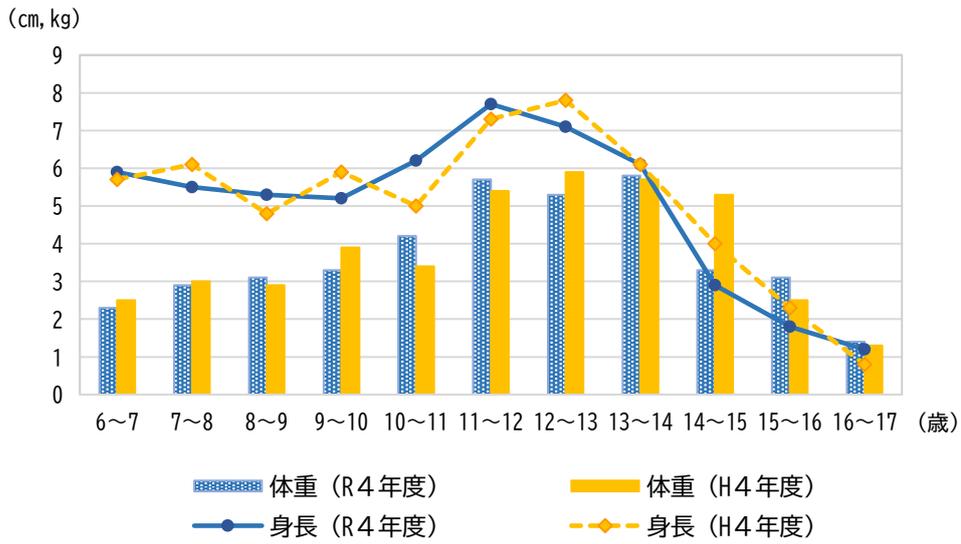


図10 令和4年度（子世代）と平成4年度（親世代）の年間発育量の比較
（女子）

